

区 分	看護学専門科目 看護学の応用	科目名	看護教育学			教員名	工 藤 真 由 美		
開講年次	4年次後期	必修 別 選択	必 修	授業形態	講 義	単位数	2	時間数	30時間

### 授業の概要

専門職教育としての看護教育を理解するために、看護教育の歴史的変遷、そして現状の看護学教育の目標、教育内容（カリキュラム内容）、教授方法を学習していく。また、現状の看護教育制度を考え、これから看護職が取り組まなくていけない課題を考える。加えて、卒業後、看護師それぞれがどのように専門職業人としての自身の研鑽を継続していくかを考えていく。

### 学習目標

#### 一般目標

看護教育における大学教育の意義を考え、現行の看護教育制度の持つ問題点を考えることができる。

また、看護教育は、看護専門職として常に継続的な学習が必要であることが理解できる。そして、看護職としてのキャリア開発の方法を考えることができる。

#### 行動目標

看護教育の現状について、問題意識をもち、その解決にむけて、自身が何を知って、何を行っていかなくてはいけないかを自覚できる。そして、大学教育を受けた看護職として、卒業後も実践の中で考えていくことができる。

### 授業内容（学習項目）

回	項 目	内 容（キーワード等）
1	教育とは？	教育とケアリング
2	専門職教育と大学における看護教育を考える①	専門職、専門職教育、大学教育、高等教育
3	専門職教育と大学における看護教育を考える②	
4	看護教育学とは？	看護教育学
5	看護教育制度の変遷と看護教育の現状①	看護教育制度
6	看護教育制度の変遷と看護教育の現状②	看護教育制度、准看護師問題
7	これからの看護教育に求められるもの～今後の看護教育制度を考える～①	看護実践能力、保健師助産師看護師法
8	これからの看護教育に求められるもの～今後の看護教育制度を考える～②	
9	これからの看護教育に求められるもの～今後の看護教育制度を考える～（GW）	
10	教育者としての看護師の役割	
11	看護継続教育～専門職として学び続けること～	継続教育、卒後教育、卒後研修制度
12	看護師としてのキャリア・プラン	継続教育、キャリア開発、大学院教育
13	専門看護師・認定看護師育成について	専門看護師、認定看護師
14	国際看護学	世界の看護教育
15		国際看護学

## テキスト

特に定めない

## 参考書

適宜紹介する

## 成績の評価方法

授業、演習への参加状況とレポートで評価します。

## 教員から学生へのメッセージ

看護と教育は実に親和性のある領域です。なぜなら、その中核には「ケア」があるからです。看護と教育、この二つの概念をじっくりと考えられる授業にしたいと思います。

また、卒業を間近にむかえています。皆さんの看護師という専門職者としての学びが終わるわけではありません。卒業後も更に研鑽し、より高度な知識・技術を学び続けていくことが専門職には求められます。看護教育の現状だけでなく、今後皆さんが、看護師として、どのように学び続けていくかということを考えられる一歩となるような授業にしていきたいと思っています。